

みんな集まれ!

生涯学習施設の取り組み



みんなで協力して大きな「隠れ家」を作成。慣れない作業にも真剣に取り組みました。

浦安市では、「子どもたちが地域で健やかに育つてほしい」と願い、生涯学習施設で様々な子ども向け事業を実施しています。公立小中学校が休みとなった県民の日の六月十五日には、市内の多くの施設で、子どもたちの体験や交流を広げる様々なイベントが開かれました。また、日頃から放課後の子どもたちの体験活動を推進する場所として開放されている公民館の取り組みも紹介します。

「ひびやちもんべい」子ども広場の開催

県民の日に市内にある七つの公民館と図書館、スポーツ施設、文化施設、児童センターなど十五の施設で開催された「うらやすまるごと子ども広場」は、予想をはるかに超える子どもたちでにぎわいました。

子ども広場開催のきっかけとなった当代表島公民館は、県民の日のイベントが五年目になり、昨年からは館全体を使つての取り組みです。今年度は、ボランティアの中学生がお化け屋敷「開かずの空間」の制作と運営を引き受け、行列のできる人気でした。

富岡公民館は、地域の方々の協力を得て、けん玉、ベーゴマ、メンコに紙飛行機などの昔遊びが行われ、浦安の方言を使うコーナーもありました。

日の出公民館では「TIE隠れ家作り」を企画しました。フロアには、大型家電の空き箱で造った家が、ほぼ出来上がろうとしていました。カッ

ターで穴をあけたり、ガムテープで段ボールをつなぎ合わせたり、試行錯誤しながら夢中で作業する子どもたち。木の枠で補強した二階建てに、ペンキの色塗りも楽しみました。他の公民館でも、地域の方々の協力を得て、ダンスや工作、クライミングウォール、子ども映画会などで子どもたちを楽しませました。

文化会館では、子どもたちのためのクラシックコンサートを開催しました。市内在住の若い音楽家が、子どもたちもよく知っている曲を演奏したり楽器の紹介をしたりと、一時間があつという間に感じる楽しいコンサートになりました。

郷土博物館は、子ども三社めぐり隊を結成。四年に一度行われる浦安三社祭直前の各神社をめぐり、祭りの成り立ちや浦安の文化・歴史を学びました。「おみこしを實際にさわれてよかった。」「百以上のおみこしがあることを聞いてびっくりした。」などの感想が聞かれました。浦安市運動公園の総合体育館では、千葉ジェッツ(バスケットボール)、

バルドラール浦安(ラットサル)などプロ選手の指導の下、小中学生が汗を流していました。「憧れの選手とボールにふれあい、楽しい思い出にしてみたら」とスタッフ。スノーケル、マスク、フィンをつけて泳ぐスノーケリング体験講座も開かれました。

そのほか、中央図書館と視聴覚ライブラリーでは絵本の読み聞かせと映画会、東野児童センターの理科実験、青少年館の新感覚バーチャルスポーツゲームなど、施設の特色を生かした取り組みが見られました。

公民館における放課後子ども教室の実践

今回のイベントでは、多くの団体やボランティアの方々が参画し、多くの子どもたちが地域の大人と接しながら、様々な体験活動を行うことができました。子どもは学校と家庭だけでなく、いろいろな年代の大人たちがかわり地域ぐるみで育てていきたいものです。

学校が終わった午後三時、小学生が中央公民館に集まってきまし



中央公民館の「三二祭り」は小学生が企画。スタッフとしても活躍しました。



東野児童センターの屋上では「ふわふわ森家」が登場。子どもたちは大喜びでした。



昭和40年代の子どもの遊びを再現。ベーゴマは難しいけど、その分夢中に。

が、プログラムなので、何をやるのかお楽しみのみ水曜日です。学校の宿題のプリントを持参し始める子どももいます。ボランティアで足を運ぶ地域の方と囲碁を始めた二年生の子は、孫が祖父と遊ぶようにほ



工作の日。模様を描いたペットボトルが素敵に変身します。どんな仕上がりが興味津々。

のぼのと見えました。みるみる集中していきました。「人生ゲームをやる人、いない」と誘い続ける子や、ピアノで浦安小学校校歌を弾く子もいました。

通常は、ボランティア一人が見守ってくれています。ボランティアは公民館で活動しているサークルや寿クラブの人たちで現在は八名。父母とはちがった視線で接していました。公民館の担当者は、「大学生にも声をかけさらにボランティアを増やし、活動を広げたい」と話していました。地域で子どもをほぐくむ体制づくりのために公民館は、今後も重要な役割を果たしていきます。